

朝晩は涼しくなりましたが、日中は夏のように暑い日もあります。子ども達はまだ体温調節が苦手ですので、半袖と長袖を上手に使い分け、また脱ぎ着しやすい薄手の上着などで調節していきましょう。

知っておきたい 子どもの目のトラブル

目はとてもデリケート。何気なく触っただけでも細菌やウイルスが侵入するおそれがあります。目の異常に気付いたら早めに病院を受診しましょう。

こんなときは要注意



目をこする、まばたきが多い

かゆいときや痛いときは、手で目をこすったり、まばたきが増えたりします。



涙でうるうるする、充血している

目を覆う結膜に炎症が起きていると、涙が増えたり、充血したりします。



目やにが増える

涙や分泌物が増えるために、目やにが増えます。

流行性角結膜炎 (はやり目)

ウイルスが結膜に感染し、炎症を起こします。目やにが増えたり、白目が充血したりするほか、黒目に白い膜ができることがあります。感染力が強く、うつりやすいため、「はやり目」とも呼ばれます。

おうちでは……

タオルや寝具を介してうつることがあるので、**タオルの共有は避け、枕カバーやシーツをこまめに交換**しましょう。

ウイルスのついた手で目に触ると感染するので、**こまめに手を洗う**ことも重要です。

登園再開の目安 結膜炎の症状が消えたこと

麦粒腫 (ものもらい)

まぶたに細菌が感染して、目の縁やまぶたが赤くはれます。目がゴロゴロしたり痛みが出たりしますが、子どもはうまく言えません。まぶたがはれているときや目をしきりに触るときは受診しましょう。

おうちでは……

ほかの人にうつることはなく、薬を正しく使えばすぐに治ります。ただ、目を触るとぶり返したり、長引いたりすることもあるため、**目を気にするそぶりがあるときは、冷やしたタオルを目に当ててあげ**ましょう。かゆみや不快感がやわらぎます。

登園再開の目安 人にうつらないため、園を休む必要はありません

※上記の症状がある場合は眼科、もしくは小児科を受診しましょう。

気管支拡張テープ・かゆみどめパッチ等
貼付剤の取り扱いについて



日頃より、保健衛生面に関してご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

入園説明会や懇談会、面談等でお伝えしています「貼付剤の取り扱い」について、再度ご案内をさせていただきます。

子どもの咳症状がひどく、また長く続くと処方されるのが、ホクナリンやツロブテロールなどの気管支拡張テープです。気管支拡張テープを貼って登園することはできますが、その際はテープに「**子どもの名前またはマーク**」と「**貼った日付**」をご記入いただき、**子どもの手の届かない背中に**お貼りください。**テープを貼った日は連絡帳または口頭にてお知らせ**ください。

少し涼しくなり、蚊が活動しやすくなってきています。虫よけパッチやかゆみどめパッチ等を使用されているご家庭も多いかと思いますが、これらの**虫よけ・かゆみ止めパッチ類を貼っての登園は控えていただき、家庭内でのみご使用**くださいますようお願いいたします。

テープ類は剥がれやすく、またテープに薬剤が含まれております。剥がれ落ちた際に小さな子どもが拾って口に入れてしまう危険性があるため、**気管支拡張テープを貼って登園するのをNG**にしている保育園もございます。

当園では**気管支拡張テープに限り、貼って登園することを可**としております。先述したとおり、**名前またはマークと日付の記入**をお願いいたします。

園内どこにテープが剥がれ落ちるかわかりません。事故防止のため、**ご理解とご協力**をお願いいたします。



全園児健診・・・10月10日13:30～
視力検査・・・10月4日(うめ)
(幼児対象) 10月9日(もも)
10月11日(さくら)

※各クラスにもお知らせを掲示します

